

第1回タウンミーティングアンケート集計結果

■アンケート提出者について（26名）

	男性	女性	不明	計
40代	4			4
50代	3	2		5
60代	8	4		12
70代	2		1	3
不明			2	2
計	17	6	3	26

■本日のタウンミーティングについて

会議の趣旨・ねらい

よくわかった・・・・・・・・ 8名（30.8%）
まあまあわかった・・・・・・・・ 16名（61.5%）
あまりわからなかった・・・ 2名（7.7%）
よくわからなかった・・・・ 0名（0.0%）

会議で話し合われた内容

よくわかった・・・・・・・・ 6名（23.1%）
まあまあわかった・・・・・・・・ 16名（61.5%）
あまりわからなかった・・・ 3名（11.5%）
よくわからなかった・・・・ 0名（0.0%）

■本日のタウンミーティングについてご意見・ご感想があれば教えてください。

40代・男性

○自治基本条例を成功させるにあたり、もっと多くの市民のみなさんの参加をしていただくことが重要だと思います。たいへん重要な条例だと思います。がんばってください。

40代・男性

○参加者がやや少ないように思います。より多くの方が参加できるよう呼びかけが必

要と思います。

40代・男性

○様々な市民を相手にこの「自治基本条例」の（案）を基に、まちづくりの在り方の議論を重ねていただきたいと思います。

50代・男性

○第2章「市民参加のまちづくり」——1項「市民の権利と責務」において、最も重要で大切な市民の責務が欠落していると思います。最も大切な責務とは、納税、法の順守、投票（選挙参加）です。残念ながら、一宮市の現状は、いずれも県下ワースト1～3となっています。

50代・男性

○初めてなのでよく分からない。話が早すぎる。

50代・女性

○市民の側から一宮市をよりよくしよう、元気にしよう、そのために私たちができることを出来ることから始めようという、主催者側、参加者側の篤い意識が感じられ、初めて参加した私自身も元気になりました。タイトル通り、「タウンミーティング」になり、さらによりよくなるよう期待しています。

60代・男性

○良い企画だと思います。

○市民が自覚的に参加できるものとして、もっと多くの機会（タウンミーティング以外にも）をつくり、意義のある条例案にさせていただくよう努力をお願いします。

○時間をかけ、少しでも多くの市民が知ることが大切だと思います。

60代・男性

○もっと市民へのPRが必要だと思います。

○理解されなくては協力も得にくいです。

60代・女性

○講師の方の講義が短い時間であったため、サラリと流れてしまい、もったいないことと思った。

○質問で理解がより深まったと思います。

60代・女性

○もっと多くの人の参加を希望しますので、市民が知る方法をお考えください。

60代・男性

○初めて参加したが、たいへん勉強になった。

60代・男性

○11月30日の発言の他、「考える会」の主体性と責任を明らかにしてほしい。

○別紙を添付しますので参考にしてほしい。会議開催前にまとめた意見です。

「別紙」

一宮市自治基本条例とは何ぞや

条例の目的と歴史的経過及び活動方法・組織がわからない。

まず、目的と歴史的経過。

- 1 市町村は、地域（集落とか町内）の自主活動を破壊してきた。
 - 行政が、すべてを取り仕切る習慣にしまった。
 - 個人情報の入手ができない。
 - 財源もなくしてしまった。
- 2 産業構造、学校教育など、住民が地域に根付けないようにしてきた。
 - 長距離・長時間通勤、転勤、長時間労働など
 - 長距離通学
 - 常時地域にいるのは高齢者だけ
- 3 地域に根付いた基礎産業である農業や零細企業を成り立たなくしてきた。
 - 農業は、本来地域密着産業であったが、それすら地域で維持できない。
 - 商店及び商店街の疲弊。
 - したがって、リーダー等の不在
 - 共通の話題、話し合いの場がなくなった。
- 4 したがって、従来の自主組織が成り立たなくなった。例えば、町内会の機能の喪失である。
 - 町内会の活性化が先ではないか。
 - 町内会は、行政の手足で、死に体に近い。この蘇生が先。

しかし、この状況で自主活動を復活しようというのは、無理ではないでしょうか。地域に活力も組織力もなくなってしまったと考えます。

単に、財政が厳しくなったとの理由で地域に押し付け、地域の活力を取り戻せ

るのか。また、財政逼迫の始末を地域に負担させ得るのか。

次に、活動方法・組織について

- 1 各町内会をどう機能させるのですか。ここがしっかりしないとすべてが無駄なことになると想像します。
 - 地域住民のほとんどが加入するのは、この組織しかない。
 - 地域住民のほとんどが参加しない活動は、永続がむづかしい。
 - 例えば、1年任期の町内会長でなにができるか。
- 2 地域協議会を作る話は、各種制度に利用されているが、そのほとんどは国・県の制度で義務付けなどを行っているものである。その主体は、行政である。
 - 自主性と責任のない地域協議会
 - また、行政がせせり出るのか。
 - 屋上屋になって、住民の声が届かない、参加できない。
- 3 自主的に積極的に活動している地域協議会もあるが、そこには優秀なリーダーがいる。
- 4 各種団体を作ろうとして失敗し、できた組織が空洞化することが多い。
- 5 課題は、地域住民の意識と活動である。さらに、いかにリーダーや推進母体を作れるかにある。
- 6 行政の押し付けの地域協議会では、住民が負担を感じるだけ。
- 7 市町村職員を各地域に1人貼り付けられるのか。その位の覚悟が必要。
- 8 過去の各種団体の盛衰をよく調べてほしい。

60代・男性

○武長教授の講義がわかりませんでした。今回の条例作りに、先生の講義がどう関わってくるのかがわかりません。NPOを増やして、内容の充実を図る→これが条例とどう関わってくるのかが理解できませんでした。

提案書はNPOと地域づくり協議会が二本柱と映りますが、武長教授のレジュメ（15項目）④公共サービスの質の向上があるが、要するに税金で住民サービスがまかないきれなくなっているのを、市は「自分たちの問題は行政をわずらわせず自分たちで解決してくれ」ということではないか。巨大ハコモノ行政を止めて、もっと税金を一宮市民憲章に基づいた福祉・住民サービスに振り向けるべきではないのか。

60代・男性

○地域の市民の共感者をいかに集めるかが問題。（積極的参加者がないと前進しない）

70代・男性

○考える会の他にも、まちづくりについての一宮市自治基本条例に関する会等がありますか？

70代・男性

○質問をしたかったのですが、写真を撮っておられたので遠慮しました（避けました）。

私は、長年ボランティア活動をしてきましたが、行政に対してはいろいろな問題点を感じてきました。ですから考える会のご苦勞には敬意を表しお疲れさまと申し上げます。

ところで、この提言書について、別の面から問題を感じるころがあります。4頁の前文の“提言”の中の①キーワードとして真清田神社と堂々と書かれていることに目を疑いました。これはただの神社の建物、歴史的存在ということなのでしょうが、真清田神社となるとそうはいきません。私は市民になって50年の間、真清田神社の存在、一宮市の位置づけについて問題点を感じてきました。勿論、市や神社に聞けば、タテマエのお答えは返ってきます。日本人に保障されている信教分離の原則からみて、地域では町内会を通して、護国神社、真清田神社の寄付など、勇気をもって（かなりの）お断りしなければ、当番にあたればまわってきます。

本当に市民を（一人一人の）大切にということであれば、少数派であっても同じ市民なのですから、その人たちのためにも想像力を働かせていただければありがたいです。よろしくお願いします。

不明

○本日の内容を是非公開してほしい。

不明

○武長教授がお元気で明るいので、一宮市でも具体的に積極的に関わっていただいて、一宮をより良く元気にしてほしいです。

○ピンク・青・黄の意思表示のやり方はなかなか面白かったです。

○活発な意見も出て、切実な、生活に困った実体験、怒りも聞けて、良かったと思います。

○市民活動支援制度のお話も少ししていただければ新しい市民参加の発現がみなさんに知ってもらえるんじゃないかと思います。

○NPO やボランティアの実体験を話す講師さんも招いていただければ、条例の意味がよくみなさんに理解されたのかなと思います。